

拝啓

薫風の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

あの忌まわしい大震災から6年が経ちました。この間、皆さま方からいただいた数々の心温まる物心両面からのご支援に衷心より感謝を申し上げたいと思います。有り難うございました。

唐丹の子ども達もようやく新しい校舎が2月に完成し、明るさが増してきております。今年度中には、プールや校庭の工事も完了する見込みで、ようやく本来の教育活動が整った環境の基で展開される見通しとなりました。

子ども達は、震災時そして震災後の今日まで、地域に勇気と誇りを率先行動で示してきました。まさに子ども達は地域の宝で有り、希望です。唐丹小学校の子ども達は、震災の時、日頃の訓練の成果を生かす、今までの常識を覆す避難行動を粛々と実行し、校舎は3階まで水浸しとなり崩壊したのに全員無事でした。中学生はすでに下校していましたが、それぞれの場所で日頃の訓練を生かし、避難の手助け等をしたりその後の避難所等での行動も評価されました。

また震災後に、子ども達が積極的に取り組んでくれた郷土芸能の伝承活動は、地域に明るさと呼び戻してくれました。特に中学生全員で取り組んだ高齢化が進む大石地区での郷土芸能、虎舞継承活動は地域の絆を深め、地域再生の礎ともなりました。

恐怖心や経済的な問題、さらには大きな心の痛手を負いながらも、子ども達は明るく頑張りを通しております。これも世界中の方々からのあたたかいご支援と地域の子供達への強くあたたかい眼差しがあるからだと思っております。有り難い事だと感謝しております。復興は遅れておりますが、心の復興に遅れはあってはならないと思っております。津波等の震災は近い将来またあります。私達は自然の恵みに感謝しながら命を大切に先人の知恵を学び伝えていく必要性を強く感じ唐丹の文化として根付かせたいと活動しております。

唐丹小学校は釜石では一番古い歴史を誇る学校ですし、中学校も今年は70周年の記念すべき年です。これまでの歴史を振り返りながら、唐丹の将来を担う子ども達の希望と笑顔にあふれた唐丹を、地域住民の総意で前進させて行きたいと考えております。

結びに、これまでの皆様からのご支援に重ねて感謝申し上げますとともに、皆様のご多幸と益々のご繁栄を心からお祈り申し上げます。

敬具

平成29年5月吉日

釜石市唐丹町字片岸178-5

唐丹すぽこんクラブ

(スポーツ文化コミュニティークラブ)

実行委員長

河東 眞澄